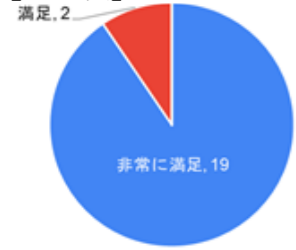


アンケートの集計結果(主な内容)

【満足度】



- ・心や生き方に焦点を当てた教育。
- ・渡曾先生の豊富な経験から、お話を伺えました。
- ・具体的な支援方法をご教示いただき、分かりやすかった。
- ・最新の知見が得られた。
- ・今の時代の思春期の特徴とそこのかかわり方を知った。
- ・きめ細かい教育のお話しが参考になりました。
- ・思春期の心の揺れについて最近関心があったため。
- ・多くの実践データから分析した思春期保健についての講演。
- ・人生を豊かにはぐくむための教育＝性教育という内容に共感できた。実践

するにあたりその内容についてたくさんのヒントがあった。

- ・今の時代を生きている子ども達の変化とそれに対応した教育の必要性を強く感じ、学びが多くありました。
- ・コロナ時、対人関係が薄くなっている中思春期の子どもたちの変化について知ることができた。

【役立ち度】



- ・子どもたちへの声掛け方法。
- ・心や生き方に焦点を当てた教育。
- ・具体的な支援方法が分かったため。
- ・どこかでぜひ活用したい、できたらいいなと思う。
- ・子どもたちへの対応の参考になった。
- ・思春期の子どもたちの理解につながられる。
- ・自身の研究や地域貢献の在り方を考えさせられました！
- ・色々な問題行動を起こす対象者について、思春期の発達段階と生活背景を知りながら関わっていくことの大切さを改めて認識できた。

- ・虐待の連鎖を食い止めるためにも、自分の人生をどう生きていくのかを子どもたちと考える時間を作りたいと思った。
- ・保健師活動では、思春期の性教育に対してはポピュレーションアプローチで実施しているが、ハイリスク事例についての活動も連続して実施していく重要性が示唆されていた。
- ・一人ひとりに大切な存在であることを丁寧に伝えていきたい。
- ・今後、性教育・こころの教育を行うことになった際の参考になります。
- ・地域での子どもの見守り、新世代の相談。
- ・思春期に入りはじめたのだなという意識を持って子どもたちに接することができそうです。

【感想】

- ・思春期教育から、子育て、そしてそのまま、子育てへ。産後ケアをしていて、虐待する親や父親の未熟さなど、非常に参考になったし、つながっていると実感しました。
- ・実践に役立つお話でした。
- ・思春期保健で活躍している渡曾先生の講演をお聴きすることが出来、とても有益な研修会でした。
- ・今回のテーマから、児童虐待とその影響、その予防のために性教育（人生を豊かにはぐくむ教育）を生まれた時から継続していくことにまともと想像していなかったのですが、常日頃から感じていることを、整理していただいたように思いました。
- ・時代とともに、大人も子どもも変わっていくのを感じました。
- ・講師の先生のパワフルな活躍に感動しました。
- ・大人になるための準備期、子どもたちにどのように接していったらよいか考える機会となった。
- ・山形県での取り組み（教材作成や指導者の教育、バッシングや圧力との戦いなど）をお聞きすることができて、非常に感動しました。岩手県での現状もいろいろ分かってよかったです。
- ・とても参考になった講演でした。子どもの発達のおやの相談にあたっていきたくて思いました。ありがとうございました。性に関する教育の中で、いじめ、発達の教育をプログラムできればいいなと願うところです。
- ・作成された DVD を拝見したいと思いました。幅広い知見確かなデータに基づく講演で、とても良い内容でした。ありがとうございました。

いわて思春期研究会ニュースレター

第11号 2023年2月発行

発行元：〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52 岩手県学看護学部
母子看護学講座内「いわて思春期研究会」事務局 FAX：019-694-3232
作成者：岩手思春期研究会広報担当理事 米澤慎悦 黒田大介 住吉美保 亀山成美

2022年度いわて思春期研究会第2回研修会が開かれます

思春期カフェ

「どうなっているの？岩手の思春期世代？」

日時：令和5年2月19日（日） 13時30分～15時30分

場所：アイーナキャンパス学習室1

参加費：会員無料、非会員500円

<プログラム>

13:30-13:35 開会 挨拶（小林高会長）

13:35-14:35 基調講演

テーマ「産婦人科開業医からみる岩手の思春期の実態」

講師 村井産婦人科医院 院長 村井正俊 先生

14:35-15:30 語り合い

「教育・保健・医療・福祉の現場では？ 家庭では？」

15:30 閉会

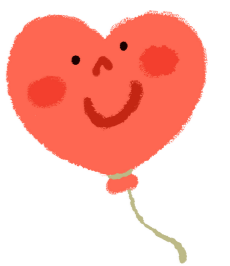
<申し込み方法> 申込期限：2月16日（木）まで

右記のQRコードを読み取り、Google フォームより申し込みください。

申し込みフォーム <https://forms.gle/pP6HaqBongbB3RU7>

QRコードが読み取れない方やGoogle アカウントが不明の方は

事務局、山内宛にメールでお申し込みください。事務局 yuri_i@iwate-pu.ac.jp（山内）



会員随時募集中!

入会申し込み書送付先 → yuhukusim@iwate-pu.ac.jp

入会申込書ダウンロード先 → <http://www.iwate-shisyunki.jp/entry/>

いわて思春期研究会メーリングリスト <member@iwate-shisyunki.jp>

いわて思春期研究会

検索



日時：2022年8月7日（日） 13:35～15:25

テーマ「コロナ禍における思春期保健
～人生を豊かに育むための教育～」

講師 東京医療保健大学 医療保健学部教授
住民とともに活動する保健師の会 渡會 睦子氏

コロナウイルス感染予防のための行動制限がなくなった2022年夏、久々に県外からの講師を迎えた研修会が開かれました。今回は会場集合17名、zoomによる遠隔配信での参加者12名のハイブリット型研修会となりました。



山形出身の渡會先生は、やわらかでおっとりとした語り口です。ご本人は「これでも地元に戻ると早口なほうなんですよ」とおっしゃるので全員爆笑。そんな時折笑いの起きる和やかな雰囲気の中で、自分たちの思春期の時を思い出しながら考たり、現代社会のひずみが子どもたちの性の問題にも影を落としていることに心を痛めながらお話をききました。

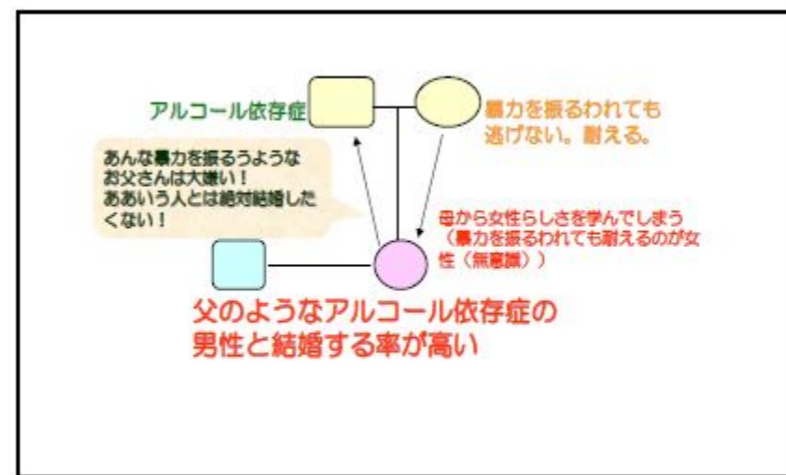
先生の豊富なデータや、講演経験をもとにした根拠のあるお話に引き込まれたあつという間の110分でした。



渡會先生が子どもたちに講演をするときに必ず使うスライドです。

長い人生の中で、自分は今の辺にいいのかということ視覚的にとらえさせます。

中学生の時期はホルモンの影響でいろいろ大変なこともあるが、いつか抜けること。大人になってもずっと使う自分の体を大切にすること、今の自分の行動が将来にどう影響をあたえるか？などということ子どもたちに考えてもらおうそうです。



アルコール依存症の父と、暴力を振るわれても逃げない妻。この夫婦の間に生まれた娘が父親のようなアルコール依存症の男性と結婚する確率は27.5%というデータもあるそうです。

この夫婦には、酒を飲むことで妻に自分の面倒を見てもらいたがっている夫【お酒を飲んで妻に手を挙げる夫】酒を飲んだ夫の面倒をみることによって、自分の生きがいを見出している【逃げない妻】という共依存関係が成立しています。

家庭の性教育の重要性
性教育は、家庭で子どもが生まれたときから始まっている

家庭で話し合う男女の姿をみせる
家族の話し合い問題解決していく姿からコミュニケーション能力を高めることができる

⇒このことが、性感染症・人工妊娠中絶・DV等の問題防止だけでなく、いじめの軽視・虐待・不登校・いじめ等の予防につながる！
父母のいない家庭でも、話し合う大切さを教えることによって問題防止につながる。

渡會先生が関わっている離婚率全国1位の県は、人工妊娠中絶率も1位だそうです。

両親が、話し合いができず不仲な家庭の子供は、親を振り向かせるための試し行動（万引き、不登校、いじめ等）をします。

次に寂しさから自分もパートナーを作りますが、コミュニケーションを学んでいないのですぐに体の関係を持ち、妊娠中絶率1位→精神疾患発症1位と負の連鎖が続くのだそうです…。

家庭で話し合う大切さを教えることが大事です。

意見交換 15:25～16:15

テーマ「親になる！思春期から、男の子は何を学ばばいい？」

助言者 渡會 睦子 先生



講演会に引き続き行われた意見交換会では、会場参加者、zoom参加者双方から活発な意見が出されました。小中の養護教諭、地域の保健師、講演会の講師、児童養護施設の職員等様々な立場から見えている気になる子どもたちの状況について、情報交換することができました。渡會先生の助言もいただき、予定時間をオーバーする盛り上がった意見交換会でした。